

(様式第 12 号)

# 活 動 計 画 書

< 記載事例 >

平成〇年〇月〇日策定

〇〇の森保全の会

## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

### 1. 組織名 活動組織の名称を記載

〇〇の森保全の会

### 2. 所在地 活動組織の所在地を記載

〇〇県〇〇市〇〇1-2-1

### 3. 地区の概要、取組の背景等 対象地区の概要、取組に至る背景等を記載

〇〇市〇〇地区は・・・により、集落で先祖代々守り続けている〇〇の森が荒廃してきた。このため、地域住民（〇人）とNPO法人〇が「〇〇の森保全の会」を設立し、〇〇の森を整備し、間伐体験や炭焼き体験を開催し、地域住民と都市住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

### 4. 取組概要

〇地区にある〇を中心とした広葉樹林について〇〇の森保全の会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に〇を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の0.5haから炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い（教育・研修活動タイプと組み合わせて環境教育、間伐体験を実施）、地域内外の住民への炭焼き体験も実施する。

### 5. 構成員の概要 活動組織がどのような構成員からなっているかを記載

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

〇〇の森保全の会は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員40名のうち35名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が4名、県外1名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係のNPOに所属している者が10名、環境保全に関する市民団体8名などからなる。

### 6. 地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与

地元自治会で〇〇の森の荒廃が問題視されており、自治会の中から有志で〇〇の森保全の会を立ち上げて森林整備を行う。〇〇の森は市有林であり、財政状況が厳しい中で、市でも十分な管理が行えていない場所である。このことから、市の方からも協定を結び、地域住民で管理をして貰えるのであればありがたいとの声をいただいている。

7. 年度別スケジュール

取組概要	〇〇年度		〇〇年度		〇〇年度	
1. 活動推進費	林況調査及び活動についての詳細な打合せ					
2. 実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	雑草木の刈払い、集積、処理	3 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3 ha
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	侵入竹の除去、チップ処理	0.5 ha	侵入竹の除去、チップ処理	1.0 ha	侵入竹の除去、チップ処理	1.5 ha
B 森林資源利用タイプ	炭焼き・薪原木の伐採(空間利用と組み合わせ)	0.5 ha	炭焼き・薪原木の伐採(空間利用と組み合わせ)	1.5 ha	炭焼き・薪原木の伐採(空間利用と組み合わせ)	1.5 ha
C 森林機能強化タイプ	作業道の作設・補修	100 m		m		m
		ha	森林資源利用タイプの活動	1 ha	森林資源利用タイプの活動	1 ha
D 教育・研修活動タイプ	環境教育及び炭焼き・薪原木の伐採体験	1回	環境教育及び炭焼き・薪原木の伐採体験	5回	環境教育及び炭焼き・薪原木の伐採体験	5回
2-1. 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積 人工林だけでなく天然林や竹林についても入れること		3 ha		4 ha		4 ha
2-2. 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていないと考えられる森林を整備する面積 施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃している等の場所であれば面積を記入すること。このとき、面積はおおよそその面積で記載し測量等を行う必要はない。		2 ha		1 ha		0 ha
3. 資機材・施設の整備	炭焼き小屋整備 薪割り機1台		薪ストーブ1台設置			

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

8. 森林施業技術の向上の取組及び安全対策（技術講習、安全装備、傷害保険加入等）

森林整備を実施する上での森林施業技術の向上の取組及び林地内での活動に関する安全確保の取組を記載

講師を招き、対象森林内において間伐方法や伐採木の搬出方法等の森林施業技術に関する研修を実施する。また、刈払い機、チェーンソー等動力機械の使用に関しては、初めて扱う者には事前講習を実施する。作業開始前には、機器の安全点検を行い、作業中においては、一定の距離以内には近づかないよう注意を怠らない。さらに、林地内での作業やイベントを実施する場合には、稼働場所の安全確認等を行い事故の未然防止に努めるとともに、活動者等に対して傷害保険の加入など、安全性の確保を図る。

9. 4年目以降の活動（森林管理）計画 4年目以降の取組の方向性について記載

4年目以降も〇〇の森の保安全管理を継続して実施。また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動を継続し、地域の里山を維持・発展させる予定。

10. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画及び森林施業計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

取組の実施箇所の森林簿及び森林計画図を添付（縮尺5,000分の1以上の図面も用いて、タイプ別活動エリアが明記されているもの）。森林簿、森林計画図がない場合は、対象区域がわかる図面を使う。

11. その他

活動計画における取組についての委託

- ・委託機関名  
〇〇森林組合
- ・連絡先（電話番号等）  
〇〇〇〇〇-〇-〇〇〇〇
- ・委託時期  
28年5月
- ・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）  
急峻な〇小班の刈払い及び処理作業
- ・委託金額  
150,000万円

※ 活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動を活動計画の中で必ず明記すること。活動全てを委託することはできない。